

2015年12月24日
日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社

水道に関する出前授業を小学校にて開催 ～CSR活動の一環（当社初の取組み）～

日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：浅井 武、本社：東京都品川区 以下、当社）は、CSR活動の一環として千葉県市原市立若葉小学校（校長：長坂 喜郎 以下、小学校）において、水道に関する理解を深める為の出前授業を12月11日（金）小学校体育館にて実施いたしました。

当社は、水道パイプライン事業として老朽化した水道管路や水路トンネルの機能更新・耐震性向上を図る為、パイプインパイプ工法や馬蹄形トンネル（STM工法）を用いた工事ならびに、水管橋の建設等を行っております。

この度、千葉県内においてパイプインパイプ工法による配水管布設替工事を実施するにあたり、近隣の小学校の4年生（以下、児童）を対象に、社会科授業の一環として生活の中で水がどのように利用されているか、またその水が当たり前の様に毎日使える事が日常生活でどんなに大切な事かの出前授業を通じ、社会インフラの重要性と災害に強くする為の活動を勉強していただきました。併せて、人々の生活に不可欠な「水」を運ぶという「資源と人をつなぐ仕事」のやりがいさも同時に児童へ伝えました。

その後、小学校に展示した実際の水道管2本（直径1.5m、長さ3mと2m）の外面に児童一人ひとりが「将来の夢」をマジックで書き込み、更にヘルメット姿で管内を通り抜けるなど、災害に強い鋼管の質感を肌で感じ取りながら、水道工事をイメージする体験学習も行いました。因みに児童の「将来の夢」が書かれた水道管は、実際の工事で使用し埋設されます。

当社は、このような地域住民の方々との良好な関係構築への取り組みを、今後とも全国の拠点や現場において機会を捉えながら実施する事で、様々なCSR活動を推進してまいります。



【出前授業】アニメーションを活用した説明



【出前授業】模型を活用した工法の説明

【お問い合わせ先】

日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社
総務部 総務室 03-6865-6000